

2023年度

## ニチキッズ葛野三条保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。  
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月15日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶおもいきり学ぶ」の保育理念に則り、戸外遊びを充実させる保育を心がけた。季節に合わせて自然に触れ合う機会を作り、子どもたちの興味を引き出す取り組みが行えた。
子どもの発達援助	子どもの情報を共有し共通理解することで、どの保育士が関わっても同じ対応ができ、子どもたちの安心につながることができた。日々のミーティングで子どもの困りや発達について話し合い考える機会を多く取ったことで子どもの発達理解が深められた。
保護者に対する支援	「給食試食会・懇談会」を行い保護者同士の交流を図った。給食試食会では普段子どもたちが食べている給食を食べてもらい、味や量を知ってもらえる機会になった。また、栄養士と話す場を提供した。懇談会では異年齢児の保護者が交流することにより育児の悩みや不安を共有したり、困り感を話し合うことで育児への不安軽減につなげることができた。
保育を支える組織的基盤	職員同士で積極的にコミュニケーションをとることによって、行事内容の確認、保育内容についての相談など、話しやすい関係性を築くことができた。非常勤職員とも連携をとり引き続き全体での共通理解を図る。

総評
コロナへの警戒は変わらないが落ち着きを見せ、保護者参加の行事を行うことができた。中でも懇談会では、異年齢児クラスの交流といった新しい形で行い、保護者同士の関りを深めることができた。また、給食試食会では、保護者からの悩みに多い食事面について栄養士と相談できる機会を作ったり、実際に給食を食べてもらい、味付けや量などを知ってもらうなど施設への関心をもってもらうことができた。今後も、保護者同士の関りを中心に地域との交流を深めることで、地域に根差した保育園を目指していきたい。